

バイオサイエンス学科 論文発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員および研究員、※は大学院生、卒研生または卒業生

<p>題名</p>	<p><i>Euglena gracilis</i>のカロテノイドを介する光応答とその生理生態上の機能</p>
<p>掲載雑誌</p>	<p>植物科学の最前線 (BSJ-Review) BSJ-review-9B:72-79.pdf (DOI: 10.24480/bsj-review.9b4.00136)</p>
<p>著者</p>	<p>加藤翔太、篠村知子【植物分子細胞学研究室】</p>
<p>概要</p>	<p>本論文は、日本植物学会第81回大会（2017年9月, 東京理科大学野田キャンパス）で開催されたシンポジウム「カロテノイド：その多様性と普遍性が切り拓く新展開」において、加藤翔太博士研究員が発表した内容をもとにまとめた総説です。本総説では、進化的にユニークな位置づけにあるユーグレナにおけるカロテノイド合成遺伝子の特徴や、ユーグレナのもつカロテノイド分子組成や含有量が環境に応答して変化することなどを紹介し、光ストレス応答とカロテノイド機能との関係を解説しています。</p> <p>本研究の一部は科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受けました。</p> <p>本論文はオープンアクセスなので、下記のサイトで閲覧可能です。</p> <p><a href="http://bsj.or.jp/jpn/general/BSJ-review-9B%2072-79.pdf">http://bsj.or.jp/jpn/general/BSJ-review-9B%2072-79.pdf</a></p>
<p>関連画像</p>	<div data-bbox="506 1110 953 1522" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="499 1537 968 1611"> <b>図1. <i>Euglena gracilis</i> Klebs細胞の光学顕微鏡写真</b> </p>